

2024年10月6日

発達障害サポーター養成講座（成人期）既受講生様
発達障害実務者養成講座（成人期）既受講生様

ひょうご発達障害者支援センター クローバー

発達障害サポーター養成講座（成人期）・発達障害実務者養成講座（成人期）フォローアップ研修の開催について

秋涼の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、サポーター養成講座（成人期）・発達障害実務者養成講座（成人期）を既に受講された方（既受講生）を対象に、下記の通り「フォローアップ研修」を開催することとなりました。

今回は、研修会後のアンケートで「事例を聞きたい」というお話が多くありました為、近藤直司先生にご講義いただいた「ケース検討会議」のやり方に基づいたケース検討（事例検討）を実施したいと思っております。当日は、近藤先生にアセスメントシートについてのお話を行っていただいた後に、既受講生（有志）から1ケース、事例をご報告いただきながら、ケースの理解を深めつつ、会議の進め方等も改めて学んでいただけたらと思っております。

つきましては、**①ケースをご発表頂ける方、②当日のケース検討会議で司会を担っていただける方**を併せて募集させていただきますので、入力フォームにてチェックや必要事項をご入力いただけたらと思います。（次頁、特記事項をご確認ください）尚、複数名ご希望をいただいた際には、勝手ながら、当方で検討をさせていただいた上、お返事をさせていただきます。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：2025年3月6日（木）14:00～16:30

場所：神戸ポートオアシス 503 会議室

費用：2,200円（お申し込み時の自動返信メールにてお支払い方法に関する詳細を記載しております）

14:00～14:05 (5)	開会 挨拶	ひょうご発達障害者支援センター センター長 和田 康宏
14:05～14:30 (25)	講義 「アセスメントシートの振り返り」	大正大学 名誉教授 近藤 直司 氏
14:30～15:30 (60)	事例検討 「成人期の事例に関して」	
15:40～16:10 (30)	講義 「事例検討の振り返りとSV」	
16:10～16:30 (20)	閉会 挨拶 アンケート記入	

定員：会場の都合により、**50名（先着順）**とさせていただきます。

受講決定につきましては、お振込みの確認をさせていただいた後、振込確認を兼ねた受講決定メールでお知らせいたします。

申込方法：**当センターホームページ内に申込フォームを設置**させていただきますので、そちらよりお申込ください。

※お申込をいただいた際、自動送信にて、お申込内容の確認のメールを送らせていただいております。お申込より1週間経ってもメールが届かない場合は、お手数ですが、当センターまでご連絡（TEL：079-254-3601）をいただきましたら幸いです。

申込締切日：2025年1月10日（金）

お願い：お申し込み内容の確認、また、今後の連絡におきまして、当センターよりメールを送らせていただきます。その際、当センターのメールアドレス（auc.clover@nifty.com）を受信できるように設定をしていただければと、大変助かります。宜しくお願い致します。

<お問い合わせ先>

ひょうご発達障害者支援センター クローバー 山内・和田

〒671-0122 高砂市北浜町北脇 519

電話：079-254-3601 Fax：079-254-3403 メール：auc.clover@nifty.com

【特記事項】

<ケースの内容については、下記の項目に該当するケースでご検討いただけますと幸いです。>

- ・発達障害（広汎性発達障害、アスペルガー症候群、自閉症、ASD、ADHD、LD等）の診断がある方
※知的障害の有無／二次障害の有無は問いません
- ・成人の年齢（19歳以上）
- ・下表のアセスメントのためのフォーマット（申込フォーム内にも添付資料があります）を基にした発表ができる

研修資料⑤ アセスメントのためのフォーマット(2)

インテイク(情報の収集・整理)	アセスメント(評価)		プランニング(支援計画策定)	
情報 (見たこと、聴いたこと、データなど)	理解・解釈・仮説 (わかったこと、解釈・推測したこと)		対応・方針 (やろうと思うこと)	
	本人について	生物的なこと (疾患や障害、発達の遅れ・偏りなど)	①	
			②	
		心理的なこと (不安、葛藤、希望、自己感、認知、 内省性、感情統制、防衛機制など)	③	
			④	
			⑤	
		社会性・対人関係の特徴	⑥	
		⑦		
	環境について	家族、学校、職場、友人など	⑧	

※研修資料④でも可

※平成25年度、平成26年度の受講生で事例発表を希望される方は別途、クローバーよりご相談をさせていただきます。

講師紹介



近藤 直司 先生

精神科専門医、子どものこころ専門医、日本精神分析学会認定精神療法医・認定スーパーバイザー、大正大学名誉教授。東海大学医学部卒業後、東海大学医学部精神科学教室、神奈川県立精神医療センターで勤務。山梨県立精神保健福祉センター所長（山梨県中央児童相談所副所長を兼任）、山梨県都留児童相談所所長、東京都立小児総合医療センター児童・思春期精神科部長を経て、2014年より大正大学心理社会学部臨床心理学科教授。2023年に勇退。日本思春期青年期精神医学会副会長。

<主な著書>

- 『青年のひきこもり』（共編、岩崎学術出版社、2000）、『ひきこもりケースの家族援助』（編著、金剛出版、2001）、
- 『アセスメント技術を高めるハンドブック』（明石書店、2012）、
- 『アセスメント技術を深めるハンドブック—精神力動的な視点を実践に活かすために—』（明石書店、2014）
- 『アセスメント技術を高めるハンドブック【第2版】』（明石書店、2015）、
- 『こころの医学入門』（共編、中央法規、2017）、『青年のひきこもり・その後』（単著、岩崎学術出版、2017）、
- 『ひきこもり問題を講義する』（単著、岩崎学術出版、2019）、
- 『アセスメント技術を高めるハンドブック【第3版】』（明石書店、2022）、